



素焼きの器



外観



窯印



素焼きの器



大石 泰浩
Yasuhiro Oishi

親の影響を受けて唐津焼の世界へ。有田窯業大学1期生であり、1年間父の元で助手をした後に2代目となる。

- 駐車場 (3~4台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

松円寺窯

シヨウ
エン
ジ
ガマ



使うことで変化する唐津焼。

親の影響で唐津焼の世界に入り、泰浩さんが2代目を継ぐ。原材料を活かした作陶を守り、草文を描いた唐津を多く生み出しているが、有田で上絵の勉強をしていたこともあって、唐津焼だけにこだわってはいない。面白そうな物があれば、なんでも挑戦するのが泰浩さん流だ。「唐津焼は使うもの。使わないと意味がない。陶器は使わないと変化する」と語る。それは使うことで表情が変化する唐津焼の魅力を知っているからだ。古唐津の良いところをしっかりとおさえながらも、現在の感性をとりいれながら作陶に励む。

唐津市菜畑 3371-3
TEL.0955-72-8010